



HIROSHIMA
NAGISA
Junior High School
Senior High School

知性と感性、夢へのチカラ。



NAGISA

広島なぎさ中学校・高等学校

SCHOOL GUIDE 2027



学校法人 鶴学園
広島なぎさ中学校・高等学校
〒731-5138 広島市佐伯区海老山南2丁目2-1
TEL: 082-921-2137 FAX: 082-924-3020



website



instagram

Student's voice

8人の言葉がつむぐ等身大の物語

NAGISA STORY

なぎさ生のストーリー

エンデバーコース

一生モノの学びをデザインする

p9-11

ENDEAVOR
COURSE

畑谷 成哉さん
(5年生)



秋山 結菜さん
(5年生)



山野井 心萌さん
(5年生)



世界と出会い、共に生きる。

p21-24

TOGETHER
WITH
THE WORLD

吉村 芽生香さん
(4年生)



探究し、創造し、表現する。

p13-18

EXPLORE,
CREATE, AND
EXPRESS

中川 桜子さん
(2年生)



望月 翔輝さん
(2年生)



大久保 輝人さん
(5年生)



研修旅行

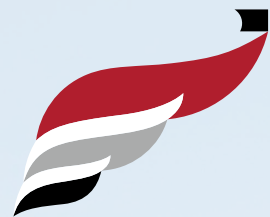
本物を学んで、本物を体験して、本物を伝える

p25-28

SCHOOL
TRIPS

下田 千楓さん
(6年生)





学校法人
鶴学園

人を想う、どこまでも。

建学の精神

Educational Philosophy

教育は愛なり

鶴虎太郎の教育精神を現したこの言葉を、建学の精神として定め継承してきました。学生、生徒を心から愛し、愛にもとづく教育をされ、愛を教育の本質とされた校祖の教育の精神を永遠の目標とし、その原点を見失わないよう、私たちは、これからも教育に取り組んでいきます。

教育方針

Educational Policy

常に神と共に歩み社会に奉仕する

人格の完成を目指して自ら研鑽し、己を制御し、「常に神と共に歩み社会に奉仕する」人間の育成が、鶴学園の教育方針です。様々な問題が山積し、教育の真価が問われようとしている今こそ、私たちは、この教育方針を堅持し、社会に貢献できる教育を展開していきます。



広島なぎさ
中学校・高等学校

知性と感性、夢へのチカラ。

混じり気のない好奇心を携え、探究する。

自然に親しみ、昨日とはちがう景色に気づく。

私たちが突き動かしてきたもの、それは知性と感性。

知性と感性はそれまで見えなかったものに気づかせ、

ときに人生を変える出会いをくれる。

偏りなく丁寧に培われることで、頭と心は真につながり

新たな未来をつくる創造力が生まれる。

知性と感性をともに磨くこと、それは可能性のかぎりない進化。

想像もしなかった自分を実現する夢へのチカラ。

広島なぎさ中学校・高等学校は、世界レベルの知性と感性を育み

なりたい自分を叶え送りだす母港でありつづけます。

成長へとつながる

新しい挑戦が、

2050年の社会は、AIやロボット技術が進化し、単なる道具ではなく、社会を共に支えるパートナーとなっているでしょう。また、「デジタルツイン」技術によって、現実世界がリアルタイムで再現される時代になっていきます。

そんな2050年社会では、皆さんは社会の第一線で活躍する存在となっています。AIが答えを導き出し、ロボットが多くの業務を担う時代に、本当に必要とされる力は何でしょうか。それは、本校が掲げるパーパス「知性と感性、夢へのチカラ。」にある「知性」と「感性」だと思っています。

「知性」とは、知識を活用して新しい価値を生み出し、自ら問いを立てる力。「感性」とは、物事を深く感じ取り、相手を理解し、人と協働する力です。

AIが多くの役割を担う時代だからこそ、人の思いに寄り添い、新たな価値を創造していく力が、これまで以上に求められていきます。

本校では、各教科で確かな知識を身につけるだけでなく、その知識を様々な教育プログラムとつなげていきます。体験したことを表現し、人に伝えることで、新たな発見や気づきが生まれる。その積み重ねが、皆さんの確かな「経験」となっていきます。

本校での学校生活を通して、「知性」と「感性」を養い、「夢へのチカラ」を育んでほしいと願っています。

学校長 斉藤 健一



4つの教育目標

これからの時代に求められる自ら学び、成長する姿勢を育む。



EDUCATIONAL PROGRAMS

教育システム

中高一貫の6年間、そして男女共学校であることへのこだわり

思春期の6年間を共学校で過ごすことは多様性を認める第一歩です。その6年間で3つのステージに分けて、教科指導と行事を両輪とし、綿密に練られたプログラムは「本物の体験」にこだわった広島なぎさオリジナルのものです。大学進学がゴールではなく、10年後、20年後に世の中に貢献できる人材に育ってほしいという想いで常に教育を作り続けています。

広島なぎさ中学校

第1ステージ 基礎期 学ぶための感性を育み、自ら学ぶ意欲を向上させる。基本的な学習習慣を育成し、基礎学力の定着を図る。

第2ステージ 錬成期 知的好奇心を刺激し、問題解決能力を向上させる。自ら進路を開拓し、学力の強化を図る。

第3ステージ 完成期 自分の将来を自ら決断し、行動に移す。高い目標に向けて、やり抜く力をつける。

1年生(中1)

2年生(中2)

3年生(中3)

4年生(高1)

5年生(高2)

6年生(高3)

自然体験学習



五感を刺激する自然体験学習。気づいたことを学びにし、発信力を身につけます。

奈良・京都研修旅行



研修旅行前から事前学習を行い、奈良・京都へ向かいます。ここで得た学びを文化祭や自己表現力コンテストで発表します。

仕事ウォッチング



仕事ウォッチングの報告会などを通して、プレゼンテーション能力を養いつつ、学びを深化させます。

夜間歩行



夜を徹して瀬戸内海・しまなみ海道を歩き続けます。日常では得られない人生の経験を得ます。

社会人講演会

各業界の講師をお迎えし、社会人としての生き方や仕事の情熱などのお話をいただきます。

選択型研修旅行(5年)

人・自然・社会とのつながりを学ぶ選択型研修旅行(9コース)で、自分の生き方を探究します。



自己表現力コンテスト(1・2年)



自然体験学習で感じたことや、研修旅行での体験を通して考察した改善提案を発表します。また、英語によるレシテーションも披露します。



●高校から入学してきた3ヶ年生、中学から入学してきた6ヶ年生、なぎさ公園小学校出身の12ヶ年生が切磋琢磨しながら学力を高める環境をつくりまします。

●研究テーマを設定し、より深い学びへとつなげる探究学習を展開します。

●探究してきた内容を後輩にプレゼンテーションすることで、深い学びを完成へと導きます。

●進路選択、そのための資格取得、自己推薦書など全てを完成させた状態で、受験勉強に集中できる環境を整えています。

ニュージーランド交換留学(2年)



ニュージーランド交換留学を通して、学年全体で国際交流を行います。



タイ交換留学(3年)



タイ交換留学を通して、学年全体で国際交流を行います。

アメリカ留学(4年)



デンマーク受入(4年)



アメリカ留学、並びにデンマーク受入を通して、校内外で国際交流を体験。生きた語学力を培い、多様な文化を尊重する柔軟な思考力を養います。

エンデバーコース

全日制課程単位制で自由度の高い学習にシフトし、新時代に適応した授業を展開することで、自ら課題を見つけ解決する力を育成します。

※3ヶ年生に関しては、5年生から選択可能です。

文系コース

国公立大学から私立大学、さらには海外大学進学まで、幅広い進路に応じたカリキュラムを用意しています。

理系コース

医歯薬理工など、幅広い学部受験に対応する柔軟なカリキュラムを用意しています。

3つのステップで10年後、
20年後に「社会に奉仕する」
ことのできる人材を育成。



選択コース

創造力の錬磨・人間力の育成

高学力的な養成

国際性の涵養

「やりたい」が、すべての学びの原動力。「自分で問いを立て、自分で答えを創る」を体現する3名のライフスタイルを、本人へのQ&A形式で深掘りします。



畑谷 成哉さん
(5年生)

Q 将来の夢について教えてください。

A 幼稚園のときに見た仏教画の影響を受け、将来は僧侶になりたいと考えています。そのために必要な学びを自ら選択し、日々学習に励んでいます。

Q 僧侶を目指して、具体的にどのような学習をしていますか？

A 仏教検定1級を取得しており、現在はチベット仏教に関心をもっています。空きコマなどを活用して、チベット語を学習中です。

Q 学校外での活動について教えてください。

A 2025年年末～年始にかけて、宮島の大聖院に泊まり込みで修行を行いました。また、南インドを訪れ、ダライ・ラマ法王と謁見することができました。

Q 将来の夢について教えてください。

A 自分のアイデアを形にすることに興味があります。2026年度、グランピング施設に関する起業を目標としています。

Q 起業に向けた準備について教えてください。

A 現在は県内の施設でのインターンシップや、高校生・大学生が集う起業ゼミに参加しています。広島FMの起業に関する対談企画にも参加しました。

Q 学校行事の企画も担当されたそうですね。

A エンデバーコースの校外学習の企画からプレゼン、実施までを担当しました。企画を形にする難しさと大切さを学び、仲間と本音で語り合う中で絆が深まり、良好な関係を築くことができました。



秋山 結菜さん
(5年生)

Q 将来の夢について教えてください。

A 声優を目指しています。自分の声を活かして、多くの人に作品の魅力を届けられる表現者になりたいと考えています。

Q 声優デビューについて教えてください。

A オーディションに合格し、2026年1月末に東京で1クール分のアニメ収録を行いました。初収録は分からないことも多く、周囲に引っ張られながら進みましたが、ミュージカルや学校発表の経験から、過度な緊張をすることなく臨めました。

Q 今後の目標について教えてください。

A 2026年4月放映予定の作品に加え、次回の出演作品も既に決定しています。セリフ数の少ない役で悔しさを感じることもありますが、役と向き合う中で新たな学びや技術に気づき、役の在り方への理解を深めていきたいです。



山野井 心萌さん
(5年生)

	月	火	水	木	金
1	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業	空きコマ (チベット語学習)
2			空きコマ (授業発表準備)		
3		空きコマ (仏典購読)			通常授業
4					
5		通常授業			
6					
7					

時間割例(畑谷)

自分だけの学びをデザインする 「単位制」の仕組み

従来の枠組みにとらわれず、自身の興味や将来に合わせて一部の科目を選択できる「全日制課程単位制」を導入しています。全員が同じ授業を受けるのではなく、自分の進路に必要な学びを自ら選ぶことで、主体的な学習に取り組む姿勢を養います。一人ひとりに最適な「学びのピュッフェ」が、ここにはあります。



なぎさオリジナルの 「学校でしかできない学び」

現代においては、知識の獲得のみであれば、動画やアプリを活用して自分のペースで学習できます。エンデバーコースでは、通常の授業においても、教科書の内容をただなぞるのではない「学校でしかできない学び」を重視します。無人島でのサバイバルを意識した「科学と人間生活」、これまでに学んだ様々な知識をフル活用して創り上げる「文学国語」など、本校の教師陣が自信を持ってお送りする「なぎさオリジナルの授業展開」もコースの魅力です。

圧倒的な没頭時間を創出する 「空きコマ」と伴走支援

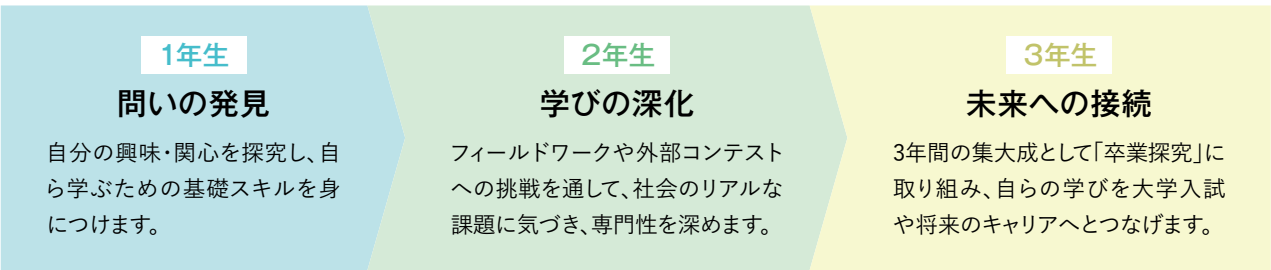
自分で時間割を組む中で生まれる「空きコマ」は、自分を磨くための貴重な時間です。図書室や空き教室で、自分のプロジェクトや探究、あるいは専門分野の練習に多くの時間を費やすことができます。生徒の自発的な挑戦を、教員一丸となってサポートし、夢の実現に向けて共に歩んでいきます。



一人ひとりの「やりたい」を、形にする制度。

自らを描き、未来を拓く3年間のロードマップ

エンデバーコースでの3年間は、単に知識を蓄えるだけの時間ではありません。予測不能な未来を生き抜くために必要な「しなやかな力」を養うため、自ら問いを立て、社会とつながり、自らの道を描き出すプロセスです。「全日制課程単位制」という仕組みを最大限に活かし、興味や進路に合わせて学びを自らデザインする中で、一生モノの武器となる経験と自信を身につけます。



多様な個性を武器にする戦略的な進路指導

自分の強みを最大限に活かせるよう、総合型選抜や学校推薦型選抜を中心とした、一人ひとりに最適な入試戦略を共につくります。小論文指導や面談を繰り返し、自らの経験と言葉で未来を勝ち取る力を養います。国内外の大学進学から起業、専門分野への道まで、多くの生徒が自分らしい進路を実現するためのサポートを行います。



探究を加速させる創造的なプラットフォーム

校内には、思考を可視化するホワイトボードや、集中してプロジェクトに取り組める個別のスペースなど、生徒の「やりたい」を形にするための環境が整っています。また、学外の企業や大学とのネットワークも豊富で、学校の枠を超えて「本物」に触れる機会を多く提供します。



NCP (NAGISA CHALLENGE PROGRAM) 5年生文系コース・エンデバーコース



社会や大学とつながる、新しい「生きた学び」。

これからの社会で必要とされる問題解決能力を中心とした新しいタイプの授業群です。企業や広島工業大学に協力を仰ぎ、ただの座学に留まらない、生きた学びを展開します。



NCPの授業内容

《 NCP-A「宇宙」 》		《 NCP-B「HIT-DATA ナビ」 》	
協力企業・団体	●株式会社日本旅行 ●ミライ塾	協力企業・団体	●広島工業大学(情報学部)
身につく力	●課題発見力 ●情報収集能力 ●整理・分析能力 ●主体性の育成	身につく力	●問題解決法 ●統計 ●データサイエンス
主な内容	●宇宙飛行士訓練体験ワークショップ ●人工衛星利活用ワークショップ ●その他	主な内容	●親和図法 ●連関図法 ●相関関係 ●ヒストグラム ●POSデータ ●その他

《 NCP-C「地域」 》	
協力企業・団体	●株式会社日本旅行 ●株式会社イズミ
身につく力	●課題発見力 ●情報収集能力 ●整理・分析能力 ●地元貢献
主な内容	●企業講話 ●企業と連携した制作物 ●グループワーク・報告会 ●サステナブル・ブランド 国際会議高校生共創プログラムへの参加 ●その他



Features of Nagisa 01 — なぎさの特長01

探究し、創造し、表現する。



レンコン手握り体験



自然体験
学習

森のウォークラリー



文化祭

自然体験学習のクラス展示



自然体験
学習

火起こし



創造
国際

ロボット作り



主な教育プログラム

自然体験学習

見る、聴く、触れる、嗅ぐ、味わう 五感を拓く授業

1年生の秋休みにクラス単位で実施している自然体験学習。場所は鶴学園の八千代キャンパスです。都会の喧騒から離れた土師ダム湖畔に位置しており、自然の多く残る場所で五感を研ぎ澄ましていきます。そして気づいたことを学びにし、発信していく力を身につけます。



創造国際科

授業のテーマについて

創造国際科では人生の様々なイベントや家庭生活での問題に向き合えるように、学年によって様々なテーマを設けています。

例えば「森」の授業では、1年生という非常に多感な時期に、五感、空間、時間の感覚を意識的に機能させることで、知識・情報を十分に吸収できる感性を養うことを目的としたクリエイティブな授業を展開しています。自然の全てを教材とし、生徒が実際に自然に触れることで、感覚を研ぎ澄まし、自然に対する自分の思いを変化させていきます。

「彩(いろどり)」の授業は視覚に特化した授業です。学校の制服、自分のロゴマーク、お菓子のパッケージデザインなどを制作することで、人の印象がいかに視覚に左右されるかを学びます。授業で行う「歌舞伎の隈取」では、生徒がお互いに化粧をし合い、色の使い方、塗り方の与える印象について学びます。





探究し、創造し、表現する。

EXPLORE, CREATE,
AND EXPRESS

体験を言葉に変えるフロー



生徒の声 *Student's Voice*

伝えたい想いを、
言葉と身振り手振りにのせて

Before 人前で話すことへの苦手意識。
After 伝える楽しさと、確かな自信。

自己表現力コンテストに向けて、たくさんの原稿修正はとても苦労しましたが、「原稿を良いものにしたい」「誰が見ても良い発表だと思えるものにしたい」という思いで、やる気に満ちていました。コンテスト当日は、迫ってくる自分の番にとても緊張していました。休憩時間は常に原稿を覚え、できる限りたくさんの人を惹きつけられるよう、身振り手振りをすることを意識しました。いざ本番となると、練習の成果が発揮でき、今までに覚えたものがすらすらと出てきました。自己表現力コンテストのためにサポートしてくださった先生方や家族にはとても感謝しています。



中川 桜子さん
(2年生)

創造国際の年間カリキュラム



生徒の声 *Student's Voice*

「まずはやってみる」が生んだ試行錯誤が、
多角的に考え、挑戦する原動力に

Before 1つのやり方で満足し、そこで完結。
After 他のアプローチも主体的に検討し、行動へ。

「創造国際」で行ったドラム缶での燻製作りは、私の視野を広げる大きなきっかけになりました。時間や素材の組み合わせを変えて何度も試行錯誤を繰り返し、形にする達成感を味わう中で、物事に対してじっくり深く考える面白さを知りました。今までは、1つのやり方を見つけたらそこで満足して終わりにしていました。しかし、この授業での様々な経験を経て、「思ったらずはやってみよう」「別の視点から考えてみよう」と、多角的にアプローチを検討できるようになりました。ここで培った主体性は、今では部活動のサッカーで自分から進んで発言をするなど、日々の行動の大きな原動力になっています。



望月 翔輝さん
(2年生)



なぎさオリジナル授業「人間科」

「自己実現」を目指し、自分らしく生きながらも、「平和な社会」の構築に寄与できる人間を育てることを目指します。
「自己形成」「他者との共生」「社会理解」の3つを軸とした1～6年生までの6年間のオリジナル教育（授業）を通し、
一人ひとりの生徒が地域や世界の中で自分がどう生きるのか、そのために何が必要で大切なのかを考え、行動する意欲、力を育てます。



白杖・手引き体験

いのちの授業

社会人講演会

- 「わたしメッセージ」で伝えよう
～気持ちの伝え方～
- いのちを感じよう
～生かされている喜び～
- わたしにできること
～地球人として生きよう～

1年生
(中1)

- 私のせいじゃない
～共感と責任～
- 平和を築く
～私たちにできること～
- 仕事ウォッチング
～はたらくってどういうこと～

2年生
(中2)

- スマホから考える
～世界・わたし・SDGs～
- 社会人として生きる
～人間力を高めよう～
- 生と死
～豊かな人生を送るために～
- 私の生き方
～人・自然・社会とのつながりを求めて～

3年生
(中3)

4年生
(高1)

5年生
(高2)

6年生
(高3)

6年間で学ぶ17のテーマ

- コミュニケーションの
力を高めよう
～聴くこと・話すこと～
- 夢をもって生きよう
～社会人との出会い～
- 支え合う社会
～援助を求めることのできる社会～

- ちがいのちがい
～多文化共生社会をめざして～
- 社会人講演会
～仕事の魅力を発見しよう～
- 平和で豊かな社会を築こう
～私たちの暮らしから～

- 明日への行動
～小さな行動が社会を変える～



夜間歩行

ただ歩く、ひたすら歩く。苦勞も感動も宝物に。

生口島から四国今治へ、夜を徹して波静かな瀬戸内海・しまなみ海道を歩き続けます。距離は、約43km。茜色に染まる夕日と満天の星の輝き、穏やかな波音に心奪われながら仲間と語り合っ歩き、翌朝のゴールは静寂の感動に包まれます。歩き続けることに何の意味があるのだろうか、そう不安になりながら自分の内面に問いかけてみることも大切な学びです。しかし、その問いかけは、苦勞し努力した者だけが味わえる充実感に満ちた結果に必ずつながっています。



生徒の声 *Student's Voice*

一歩を積み重ねる勇気が、想像を超えた自分を創る

- Before 40kmという未知の距離への不安。
- After 目の前の一歩を積み重ね、たどり着ける自信。

40kmという距離を夜通し歩くことは初めての経験で、不安と期待が入り混じる中でスタートしました。最初の内は仲間と会話をしながら歩き、夕方の涼しい風と綺麗な景色のおかげで、想像以上に快適に感じました。しかし、時間が経つにつれて疲労が溜まり、20kmを過ぎた辺りからは足の痛みと眠気が辛かったです。それでも仲間たちと励まし合い、綺麗な星空を眺めながら一歩一歩前進しました。夜明けの空が少しずつ明るくなる様子に感動しました。今回の経験を通して、自分の限界は想像よりもずっと先にあり、目の前の一歩を積み重ねていくことで、どんな遠い道のりでもたどり着けることを知りました。この体験は私にとって大きな宝物です。



大久保 輝人さん
(5年生)

Features of Nagisa 02 — なぎさの特長02

確かな知識が、すべての土台になる。



深いレベルの 学びを 実現するために

本校は将来、社会で求められる資質・能力を見据えて、各教科の教育内容を編成しています。それぞれの学年の学習内容を明示し、教科担当者は状況に応じて学習内容の先取りや復習をすることで、生徒の資質・能力を伸長させる工夫をしています。5教科のみならず、芸術、創造国際、体育、人間科、学校行事まで全ての教育プログラムで6年間のつながりを意識して教育を展開しています。

国 語

すべての基本となる
言語能力を
「きちんと」身につける



きちんと読める、きちんと書ける

どんな分野の文章でも、筆者の主張を読み取るためには、語彙力や、論理的思考力が欠かせません。自分の考えを正確に伝え、他者とコミュニケーションを取るためには、文章を書く力も必要です。授業で繰り返される、読み、書き、伝える行為が、思考の基礎であり、表現の要である語彙力を養い、問題意識をもって論理的に考察する力を育てていきます。

数 学

論理的思考力と
問題解決能力を磨く
ライブ感覚の授業



もがけ、残せ、目指すは美しく

数学の醍醐味は、やはり明快さであり美しさです。皆が「おーっ」と感動するような解法、解答。私たちはここを目標にしてほしいと思っています。数学で養われる思考力は、数学だけにとどまらず、全ての学びの礎になります。合言葉のように6年間、日々「もがけ、残せ、目指すは美しく」を学びの目標として掲げ、それに基づいた丁寧な指導を展開していきます。

社 会

一つひとつの事象から
全体像へダイナミックな
「社会科」力を身につける



一つひとつの事象⇄全体像

社会科では視点の置き所を複数もちながら社会事象を捉える力、つまり、「一つひとつの事象から全体像へ／全体像から一つひとつの事象へ」を身につけるための取り組みを展開しています。視点の置き所の変化を求める授業を通して、複数の視点を確保しようとする姿勢が養われ、直面する現実的な問題に対して的確な認識をもつことができるようになります、私たちは考えます。

理 科

最前線に臨み、考え、
科学者の視点で
物事を捉える力を育む



科学者の視点で

自然からのメッセージとまっすぐ向き合い、科学者の視点に立った考え方のできる人材に。そして実証に基づく合理的検証ができる力と、探究心を養いたいと考えています。それらを身につけることは、常に新しいものへ挑戦し、発見し、素直に感動し、一步一步着実に前進できる力を、自分自身の中に備えることにつながります。

英 語

日常的に英語を使うことで、
英語運用能力を養い自ら
発信していく力を身につける



自ら発信していく力

英語を学習することによって幅広い知識を身につけ、その知識を基に、自分の考えを論理的に表現できる力の育成を目指しています。日常的に英語でコミュニケーションを取る環境で過ごすことによって、場面や相手にふさわしい表現を使い、外国語でやり取りができる。このような成功体験を積み重ねることによって自信をもって自らを発信していく力が養われます。

Features of Nagisa 03 — なぎさの特長03

世界と出会い、共に生きる。



交換留学で生まれる交流と絆



デンマーク
受入

アメリカ
留学

ニュージーランド
留学



タイ
留学

交換留学 プログラム

本校生徒とニュージーランド、タイ、アメリカの各学校の生徒が交換留学を行い、互いの家庭にホームステイしながら友好を深め、互いの文化を学びあうプログラムです。文化や習慣の違いに驚きながらも、学校や家庭でクラスメイトと学びあうことで、コミュニケーション能力を高め、異文化を尊重する態度を養い、自文化理解を深めます。

2年生(中2) *New Zealand*

なぎさとニュージーランドの生徒たちが結ぶ成長への夢と絆



留学 バサデナ・プログラム (ニュージーランドへ留学)



ひろしま・プログラム (なぎさへ留学生を迎える) 受入

3年生(中3) *Thailand*

なぎさとタイの生徒たちが互いの文化への理解を深め、アジアの架け橋になる



留学 サティカセ・プログラム (タイへ留学)



ひろしま・プログラム (なぎさへ留学生を迎える) 受入

4年生(高1) *America*

なぎさとアメリカの生徒たちが多様な価値観を分かち合い、世界を多角的に捉える力を身につける



留学 アメリカ・プログラム (アメリカへ留学)



ひろしま・プログラム (なぎさへ留学生を迎える) 受入

生徒の声 *Student's Voice*

「完璧さ」よりも「踏み出す一歩」が異文化を理解し、自国を見つめ直す機会に

Before 当たり前感じていた日本の文化。
After 異文化と触れ合い、自国の価値に改めて気づく。

中学2年生で訪れたニュージーランドに続き、高校1年生の夏にはタイへの交換留学に挑戦しました。現地で何よりも刺激を受けたことは、自分の国を愛し、大切にしている人々の価値観に触れたことです。日本とは異なる考え方に驚くとともに、自国を誇る姿にどこか羨ましさも覚え、海外への興味が更に深まりました。お互いに片言の英語であっても、恐れずに歩み寄り、心を通わせようとするので、今でも毎日写真を送り合えるかけがえのない関係を築くことができました。こうした異文化を知り、同時に日本の良さを見つめ直す経験は、視野を広げ、より良い国際社会へとつながる確実な一歩になると感じています。



吉村 芽生香さん
(4年生)

なぎさの特長03



留学生との交流プログラム

1年を通して世界とつながり、国際感覚を身につける



約10日間

ニュージーランド 交換留学生受け入れ

パサデナ中学校との交換留学は30年近く続いています。2年生にとっては最初の国際交流であり、ここからなぎさの国際性が育まれていきます。

タイ 交換留学生受け入れ

約2週間

2016年から始まったタイとの交換留学。自文化を尊重しダイナミックに経済成長するアジアの様子を知ること、新たな視点をもつことができます。



デンマーク 留学生受け入れ

約1週間

2023年度から始まったプログラム。デンマークの学校との交流を通して質が高いといわれる北欧の教育に触れ、ヨーロッパの文化を体感することで視野を広げます。



約1週間

アメリカ 交換留学生受け入れ

アメリカコネチカット州にある語学重視のカリキュラムを有したマグネットスクールです。アジアの語学を学んでいる生徒も多く、アメリカ文化を体感するとともに、海外から見た日本を捉える機会となります。



シンガポール 大学生との交流

広島工業大学専門学校と交流のあるシンガポールの大学生がなぎさを訪れて、中高国際部主催の交流会でお互いの文化交流を行います。

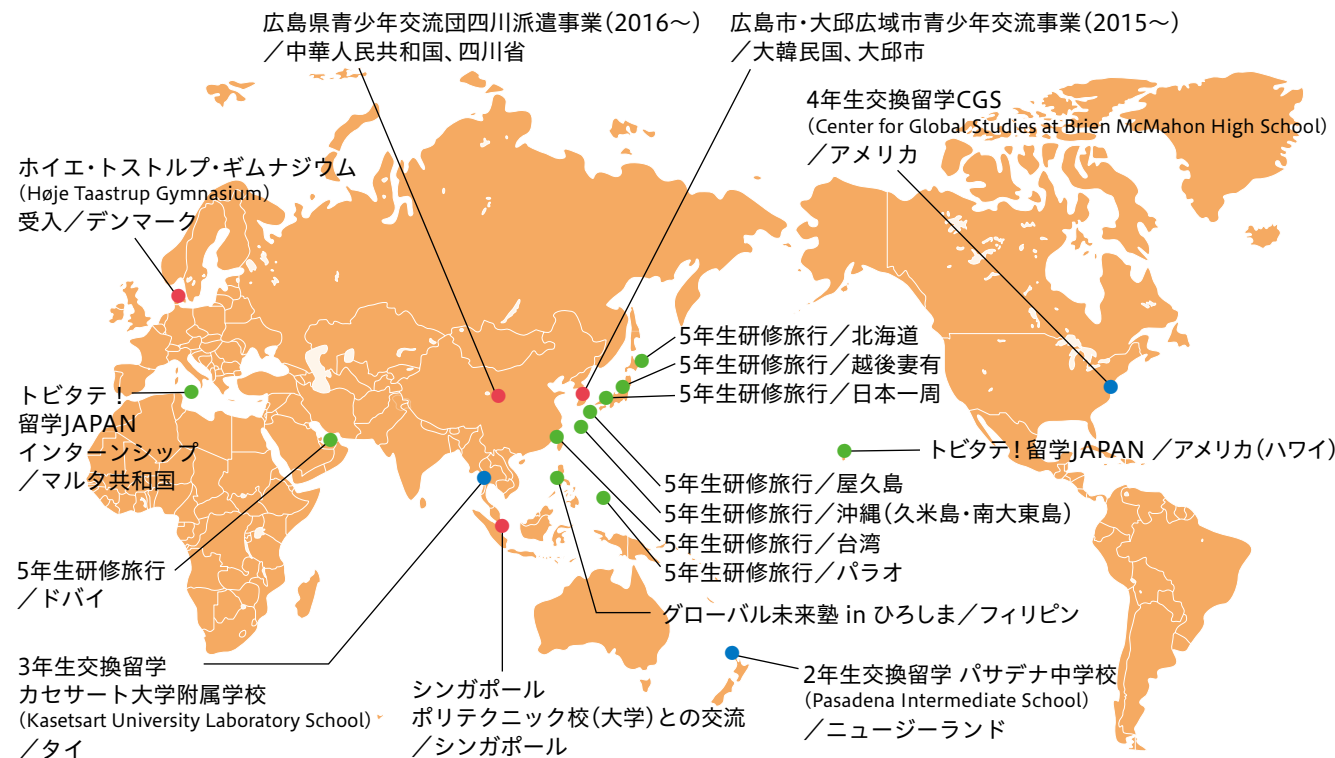


4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

世界に広がる

異文化体験プログラム

● 交換留学 ● 受入 ● 訪問



異文化促進プログラム



なぎさ留学生ガイド

全世界からなぎさに訪れる留学生の通訳ガイドとして、平和公園をはじめとする観光名所と一緒に回るボランティアの登録制度があります。このボランティアは1年ごとの更新制とし、様々な国や地域の留学生と広島を歩く中で、英語だけではなく国際感覚も身につけ、広島や自文化について理解を深める機会となります。



なぎさホストファミリー制度

海外からの留学生との交流を積極的に図る中で、外国人留学生受入家庭の登録制度があります。世界中からなぎさに集まる留学生のホームステイ先として、登録をされているご家庭に受け入れをしていただいています。学校生活だけではなく、日常の家庭生活でも留学生とつながることで、より身近なところから国際感覚を養うことができます。

SCHOOL TRIPS

5年生

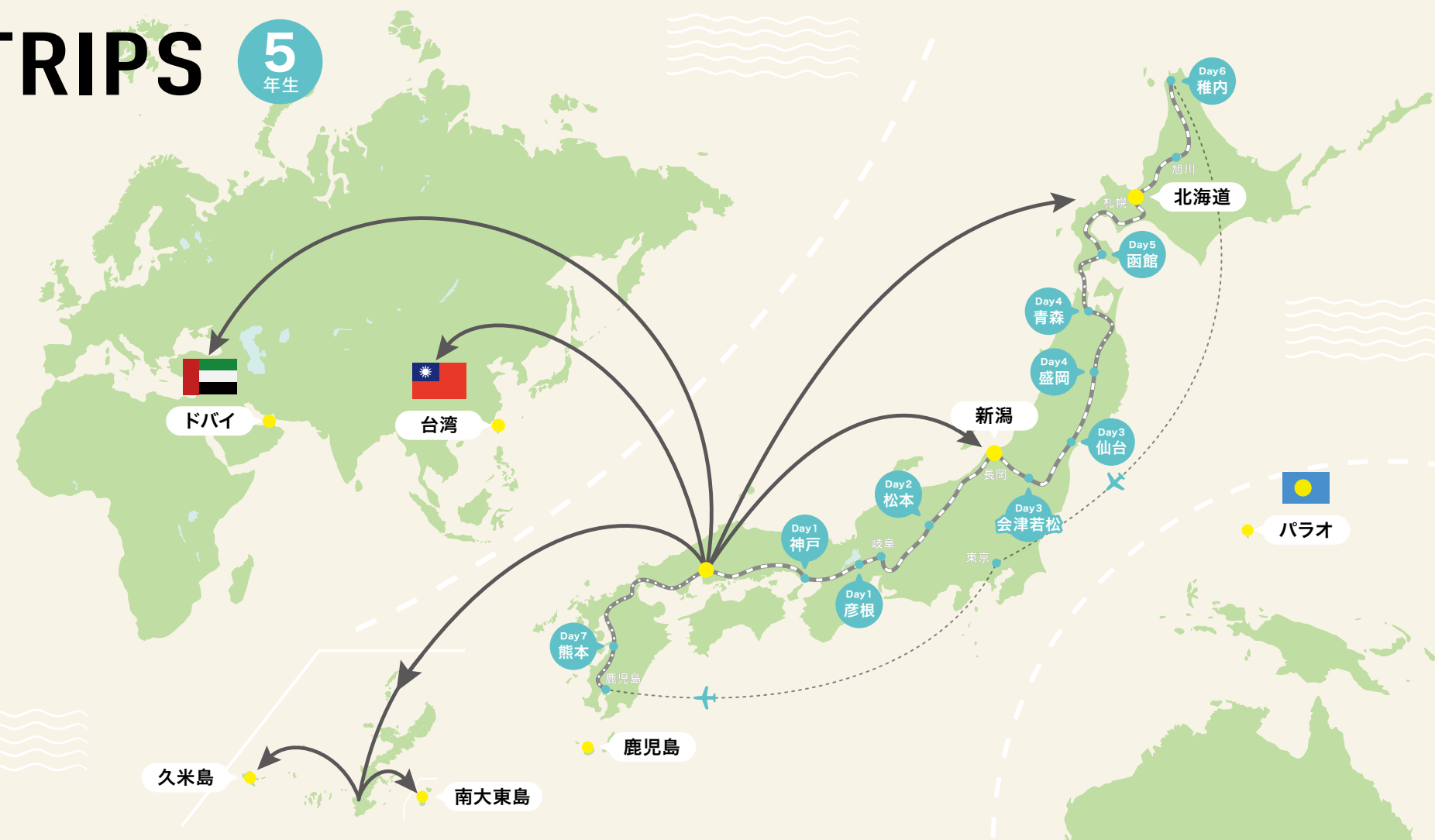
研修旅行

本物を学んで、本物を体験して、本物を伝える

「私の生き方」

～人・自然・社会とのつながりを求めて～

私たちは地球市民として、政治・経済・社会・文化の異なる民族・国家とともに生きています。そして、身近な生活においても、多様な文化・社会的背景をもつ人々とともに生きています。しかし、地域社会や世界の問題への実感は薄く、関心をもてないまま日々を過ごしてしまうことが多いでしょう。本校の研修旅行では、国内外の様々な場所にコースごとに出かけ、自然やそれらと関わり生きている人々、そこで生まれた文化(異文化)に触れ、学び、様々なことについて考える機会を設けています。学んだこと、考えたことを互いに語り合い、共有することにより、「人・自然・社会」とのつながりを捉え直し、この世界でどのように生きるのかについての考えを深めます。



生徒の声 *Student's Voice*

研修先
パラオ

痕跡をこの目で見つめ、戦争の記憶と向き合う

- Before 教科書や資料の中の「歴史」として戦争を捉えていた。
- After 現地に残る生々しい傷跡に触れ、自分のこととして向き合う。

私はパラオの研修旅行を通して、ペリリュー島では、戦争当時のまま残る戦車や戦闘機、旧日本海軍司令部跡などを目の当たりにし、戦争の生々しさを感じました。資料館で見た戦時中の映像は胸が苦しくなるもので、戦争の悲惨さと残酷さを「自分の目で見えて受け止める」ことの大切さを実感しました。ペリリュー平和記念公園の石碑には、戦没者の魂が迷わず日本へ帰ってほしいという願いが込められていると知り、深く心を動かされました。現地に残る痕跡に触れる中で、戦争の記憶と向き合い、考える時間となりました。



下田 千楓さん
(6年生)

SCHOOL TRIPS

2
年生

研修旅行

本物を学んで、本物を体験して、本物を伝える

教科書を飛び越え、本物と出会う旅へ
—200 人の仲間と紡ぐ、学びと成長の 4 日間。

中学2年生が10月に赴く研修旅行は、奈良・京都を舞台に、歴史の本物に触れ、自ら「問い」を発見する探究型のプログラムです。明日香村でのサイクリングや京都でのタクシー研修など、個々の自主性と集団の規律が求められる場面を多く設けています。生徒たちは、現地での和歌の詠作や、働く大人へのインタビューに主体的な姿勢で挑戦し、社会の一員としてのマナーや周囲への感謝の気持ちを学びます。ただの観光にとどまらず、仲間と共に深く思考し、自らの視野を広げることで、確かな人間的成長へとつなげる充実の4日間です。



座禅体験



宮大工体験



東大寺大仏殿の寶頭盧尊者像



タクシー研修



ミッションに挑戦



班長室長会議



サイクリング研修



着付け体験

事後学習

研修旅行でのリアルな発見や現地での学びは、帰着後の事後学習によってさらに深まります。生徒たちはクラスの仲間と対話を重ねながら、「文化祭」と「自己表現力コンテスト」という2つの舞台に向けて、自らの言葉で社会へ発信する表現を練り上げていきます。



文化祭 探究活動の成果を発信

文化祭は、日頃の探究活動の成果を共有し、発信する舞台です。中学2年生にとっては、研修旅行に向けて積み重ねてきた「自らのテーマや関心に基づく問い」に対する答えを、展示や発表という形で主体的に編集し、形にする重要な機会となります。伝統的な歴史文化に触れ、現地での出会いや様々な体験から得た多面的な気づきを単に記録するだけでなく、仲間と対話を重ねて一から表現を練り上げるプロセスを通して、現地でのリアルな発見を確かな学びへと深めていきます。



自己表現力コンテスト

多面的な気づきを論理的に表現

研修旅行という「本物の体験」を通して、生徒たちが肌で感じ、考察を深めてきた内容をグループごとで形にする場です。奈良・京都の現地での出会いや様々な体験から得た多面的な視点を論理的に組み立て、相手に伝えるプレゼンテーション能力を養います。単なる旅の感想にとどまらず、それぞれの気づきを未来への提案へとつなげ、互いの多彩な発表に触れてさらに視野を広げる、探究の成果と発信力の結晶となる機会です。

CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

クラブ活動を通し、垣根を越えて共に成長する



管弦楽部



茶道部



囲碁・将棋部



科学部



バスケットボール部



バドミントン部



美術部



国際部



馬術部



陸上部



硬式テニス部



軟式野球部



サッカー部



スポーツチャンバラ部



合唱部



放送・アマチュア無線部



バトン部

体育系クラブ

高校

陸上部／柔道部／剣道部／
バドミントン部／サッカー部／
バスケットボール部／
バレーボール部／
卓球部／軟式野球部／
硬式テニス部／馬術部

中学

陸上部／
バスケットボール部／
バドミントン部／
サッカー部／卓球部／
軟式野球部／
硬式テニス部

中高合同

バトン部／
スポーツチャンバラ部／
水泳部(競泳・水球)

文化系クラブ

中高合同

国際部／美術部／科学部／
調理部／茶道部／華道部／
書道部／管弦楽部／合唱部／
放送・アマチュア無線部／
英会話部／囲碁・将棋部／
クイズ検定部／ボランティア部

同好会・愛好会

中学

柔道同好会

中高合同

文芸同好会／
ハイキング同好会／
写真愛好会／
麻雀愛好会／
ダンス愛好会／
レゴブロック同好会

EVENTS

年間行事予定

● 中高共通行事 ● 中学校行事 ● 高等学校行事

4
April

- 入学式 ● 前期始業式 ● 休み明けテスト
- 新入生オリゼミ ● 健康診断 ● 遠足 ● スポーツテスト
- 学力テスト

5
May

- 体育祭 ● 生徒総会 ● 授業参観 ● 学級懇談会
- 交換留学 (ニュージーランド受入)
- 進路説明会

6
June

- 第1回定期考査
- 生徒会選挙

7
July

- オープンスクール ● 芸術鑑賞
- 交換留学 (タイ・ニュージーランド訪問)
- 研修旅行 (夏コース) ● 進学補習

8
August

- 夏休み ● クラブ合宿 ● 休み明けテスト
- 進学補習

9
September

- 交換留学 (タイ受入)
- 進路説明会 ● 学問探究講座

10
October

- 第2回定期考査 ● 前期終業式 ● 秋休み ● 後期始業式
- 研修旅行 ● 自然体験学習 ● 学習特訓
- 夜間歩行 ● 研修旅行 (秋コース)
- 交換留学 (アメリカ訪問) ● 進学補習

11
November

- 文化祭
- 社会人講演会 ● 交流プログラム (デンマーク受入)

12
December

- 第3回定期考査 ● クラスマッチ ● 冬休み
- 研修旅行 (冬コース) ● 進学補習

1
January

- グローバルセミナー
- 仕事ウォッチング ● 生徒会選挙
- 進学補習

2
February

- 自己表現力コンテスト
- 学園創立記念日
- 交換留学 (アメリカ受入)

3
March

- 第4回定期考査 ● 卒業式
- 後期終業式 ● 春休み
- ICU高大連携プログラム



入学式



体育祭



新入生オリゼミ



文化祭



白杖・手引き体験



体育祭



社会人講演会



自己表現力コンテスト



新入生オリゼミ



文化祭



クラスマッチ



自己表現力コンテスト



夜間歩行



自然体験学習



クラスマッチ

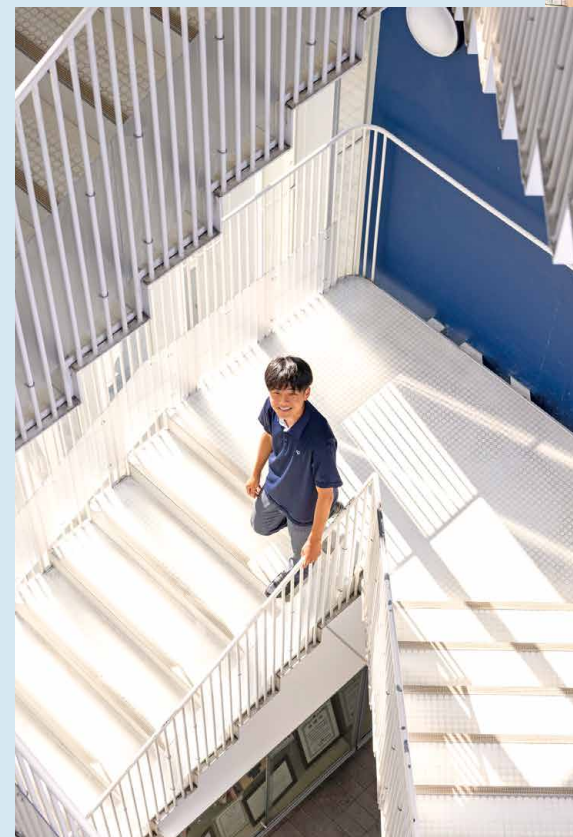


卒業式

UNIFORM

制服紹介

従来のコンセプトである「知性」・「気品」・「誇り」に新しいコンセプトとして
“Active” “Liberal” “Diversity”を加えた制服



Active な
日々

Liberal な
学校生活

Diversity の
時代

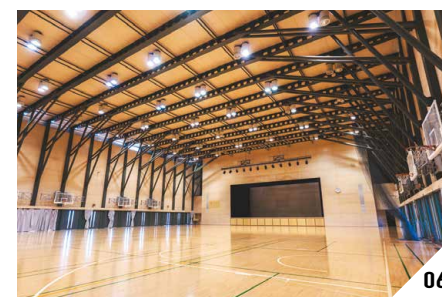
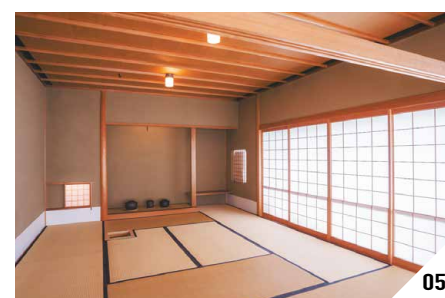
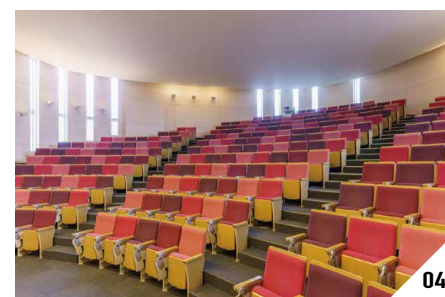
学びの空間・感性を育み、創造性を磨く

LIFE IN NAGISA

FACILITIES

学校紹介

学びの空間・感性を育み、創造性を磨く



- 01 中庭
- 02 グラウンド
- 03 廊下
- 04 シェルホール
- 05 茶室
- 06 体育館
- 07 図書室
- 08 ピアノ



なぎさで育まれた自主性が、今の自分の基盤に。

生徒の意見を尊重してくれる環境。

OB・OG MESSAGE 卒業生の声

—— 一番思い出に残っていることは？



蒲生 高校1年生の時にいったニュージーランドでの語学研修で人生が変わりました。3週間、現地の家庭にホームステイして大学に通って授業を受けるという内容だったのですが、本当に刺激をもらいました。そこから、海外に携わる仕事がしたいという想いが芽生え、将来のビジョンを描くことができました。



相川 私は日常の様々な出来事が全て思い出深いのですが、強いて1つ挙げるとしたら高校2年生の時の文化祭です。お化け屋敷をやりたいと複数のクラスから希望が出たのですが、普通はどこか1クラスになると思いきや、合同で開催することになり、とても盛り上がりました。自分たちの希望を尊重してもらったという思い出があります。



本当に生徒の意見を尊重してくれる校風でした



畑中 お化け屋敷、盛り上がりましたよね。私がなぎさで初めての担任を受け持ったクラスだったこともあり、よく覚えていました。当時から、可能な限りは生徒の意見を尊重したいと思っていました。その方が生徒自身もやる気が出ますよね。



相川 本当に生徒の意見を尊重してくれる校風でした。バレーボール部に所属していたのですが、他校に練習試合の依頼を生徒自ら行っていたのも思い出深いです。



徳山 相川くんと言えば、研修旅行で北海道に行った時、寝坊した友人を率先して起こしに行った男気のあるエピソードを思い出します。



畑中 皆をまとめるリーダーの気質がすごかったですね。



相川 出来ていないことを指摘するのではなく、自分の良い部分を伸ばしてもらえたと感じています。

—— 印象に残っている授業は？



相川 中学1年生の時に「森」という授業です。当時は山の中を歩いて進み、聴診器を木に当ててみたり、滝を見ながらグレープフルーツを食べたり、という内容でした。自然に触れて、五感をしっかりと使うという目的の授業ですが、自然と一体となる感覚が心地よく、印象深かったです。



徳山 「森」の授業は、今もアップデートした内容で続いていますよ。他校ではなかなか無い授業ですね。



蒲生 私は畑中先生の地理の授業が大好きでした。オリジナルのプリントを作って、私たちが興味を持つようなエピソードを交えながら教えてくれたのを覚えています。すごくロマンがあって惹かれました。



畑中 少人数でしたが個性的なメンバーでしたね。皆、仲が良く、卒業後に集まって鍋パーティーをしたのも思い出深いです。



自分らしさを持つことの大切さを教えてくれる環境

—— なぎさでの6年間で、今に生きていると感じる部分は？



蒲生 ニュージーランドで海外に興味を持ったことがきっかけで、これまで海外に携わる仕事をしてきました。自営業で頑張っていきたいと4年前に一念発起し、現在は夫と共に店舗を持たないチーズケーキ店を運営しています。チーズケーキに使うパナリビーンズは、自らタイに行き、仕入れ交渉を行いました。



徳山 蒲生さんが作るチーズケーキ、とても美味しいですよ。いろんな場所に買いに行かせてもらっています。卒業生が頑張っている姿を見られるのはとても幸せです。



相川 私は理学療法士として働いていますが、患者さんとコミュニケーションをとったり、後輩の指導をしたりする際に、なぎさで培われたコミュニケーション能力が生きていると感じています。



—— これから入学を考えている人にメッセージを。



蒲生 自分がやりたいことに前向きにチャレンジできるのは、なぎさの6年間で育まれた自主性の部分がすごく大きいと思います。自分らしさを持つことの大切さを教えてくれる環境がなぎさの魅力です。



畑中 たしかに、自分らしくあることが尊重される校風で、お互いの個性を活かしあえる、開かれたすごくいい雰囲気だと、何より生徒たちの姿を見ていて思います。



相川 あとは、多くの仲間と6年間にわたって同じ環境で過ごすので、大人になった今も、大切にしたい絆が生まれます。先生とも仲が良く、徳山先生のことは、皆「徳ちゃん」と呼ぶくらいです。自分を尊重してもらった環境で、生涯大切にしたい仲間や恩師との出会いが待っています。



徳山 ちゃん付けで呼んでもらっているのは僕くらいかな(笑)。それくらい生徒との距離が近いということですね。なぎさで教鞭をとって30年になりますが、生徒たちの思いを実現できることがなぎさの良いところであり、ここで働きたいと思う理由です。偏差値によって左右されるのではなく、その子が進みたい道を後押しするのが本当の進路指導だと思っています。これからも個性豊かな子どもたちとの出会いを楽しみにしています。



左から

あいかわ ひさよし
相川 央徳さん 広島なぎさ中学校・高等学校 2009年3月卒業 理学療法士
がもう み き
蒲生 美彩さん 広島なぎさ中学校・高等学校 2009年3月卒業 『piece of cake!』代表 (旧姓 島田)
はたなか あきら
畑中 輝先生 広島なぎさ中学校・高等学校 教諭 エンデバーコース副コース長
とくやま ひろし
徳山 浩志先生 広島なぎさ高等学校 教頭

UNIVERSITY FRESHMEN

合格者の声

Message 01

松平 紘英(マツダイラ コウエイ)さん
合格校:大阪大学 外国語学部 スペイン語専攻

なぎさの受験サポート体制は、非常に手厚いものでした。6年生からは、19:30まで受験勉強用の教室が開放されているため、私は毎日そこで自習に励みました。また、担任の先生との丁寧な面談を重ねる中で、最良の進路を選択することができました。

各教科の先生方による丁寧な指導、特に二次試験対策における過去問添削は、合格への大きな原動力となりました。英語の配点が高い私の志望学部に合わせて、英語の先生には過去問に加え、他学部の同傾向の問題まで用意して徹底的に二次力を鍛えていただきました。二次試験の配点が高い大阪大学に合格できたことは、この過去問指導あってこそだと確信しています。

5月に大学入試センターで発表された受験結果では、共通テストと二次試験の総得点において、外国語学部全体の最高点を取ることができました。これまでの努力が実り、結果に結びついたことに満足するとともに、親身に指導してくださった先生方に感謝しています。

大学受験を通して、多くの人の支えに感謝すること、積み上げることの大切さを学びました。日頃の授業や定期考査などを通してつけた実力は決して裏切ることはありません。皆さんも、なぎさでの毎日の取り組みを大切にしてください。



令和8年度
大阪大学
入学式

Message 02

堀内 彩代(ホリウチ サヨ)さん
合格校:広島大学 生物生産学部 生物生産学科

進路を考える時、面談だけではなく普段の何気ない会話の中で、たくさん相談に乗っていただきました。夏休みの補習後、毎日職員室へ通って受けた何時間にも及ぶ個別指導は、今でも鮮明に覚えています。

広島大学の共通テストが「みなし満点」となる英検準一級の取得についても、半年以上個別指導をしていただきました。生徒が大勢いるにも関わらず一人ひとりに時間を割き、試験の前日まで支えていただいたことは、何よりも心強いものでした。

11月に広島大学の総合型入試を受験した際には、夏休みから入試対策に時間を割いていただきました。結果は不合格でしたが、先生方の支えのおかげで後悔は残りませんでした。

共通テスト本番の朝、不安で一杯でしたが普段からお世話になっていた学年団の先生方に励ましていただき緊張も和らぎました。受験生として過ごした1年間は辛いことの方が多かったですが、ようやく広島大学の合格を勝ち取り、先生方に合格を報告することができて本当に嬉しかったです。なぎさで分野を横断した学びを深め、語学留学や留学生との交流を経験し、大学で長期留学したいという新たな目標にも出会えました。6年間本当にありがとうございました。



EXAMINATION INFORMATION

受験案内

※2027年度入試につきましては9月発表の募集要項をご覧ください。

中学校 昨年度(2026年度)入試

募集人員

200名

なぎさ公園小学校からの
内部進学者を含む

専願受験	一般受験	グローバル型受験(専願のみ)	
		A方式	B方式
 筆記試験 国語、算数、理科、社会 各100点	 専願作文	 筆記試験 国語、算数 各100点	 作文 面接 筆記試験 国語、算数 各100点

※外国における在住期間が2年以上で帰国後の期間が1年以内の児童 ※英検3級以上を取得している児童

高等学校 昨年度(2026年度)入試

募集人員

25名

推薦入試と一般入試を
合わせた数

推薦入試	一般入試		
	専願受験	一般受験	帰国生徒受験(専願のみ)
 面接のみ	 筆記試験 国語、数学、英語／ リスニング 各100点	 筆記試験 国語、数学、英語／ リスニング 各100点	 筆記試験 国語、数学、英語／ リスニング 各100点

※詳細はお問い合わせください

TUITION FEES / SPECIAL STUDENT SYSTEM

学費・特待生制度等

※2027年度入学生につきましては9月発表の募集要項をご覧ください。

入学手続時納入金(今年度)	入学手続金	入学金	施設設備費
中学校	70,000円	150,000円	90,000円
高等学校	60,000円	140,000円	80,000円

学費(今年度・月額)	授業料	施設設備費	PTA会費	生徒会会費	文化・体育 後援会費	合計
中学校	36,000円	7,000円	200円	700円	500円	44,400円
高等学校	32,000円				600円	40,500円

※その他学年諸費が必要です ※中学校では研修旅行積立金があります ※入学時にタブレット端末を購入していただきます

特待生制度

入学試験において、人物、学力ともに優秀と認められた者は特待生として採用されます。詳細については、9月発表の募集要項をご覧ください。

鶴奨学金制度

鶴学園独自の奨学金制度です。家庭状況に応じて毎月5,000円を給付します。

高等学校等就学支援金制度

本制度の申請手続きを行うことで、授業料の支援を受けることが可能です。(32,000円(月額)×12ヶ月=384,000円)申請手続きは、入学後に本校を通じてご案内いたします。